

四季なりイチゴ



真冬の寒さでも花をつけることがあり、少し暖かくなるとたくさん花を咲かせる、孝行モノの四季なりイチゴを育てて6~7年になる。実は小さくても香りが高く、デザートやサラダのトッピングにぴったり。美しい葉っぱも、チーズの飾りなどに使いやすい。

バレンタイン・データを公開中

ラパンアジールの自主調査「2011年バレンタイン調査」をレポート

<http://research-lapin.seesaa.net/>

調査実施日:2011年2月27日~2月28日

対象:首都圏在住 20~59歳女性

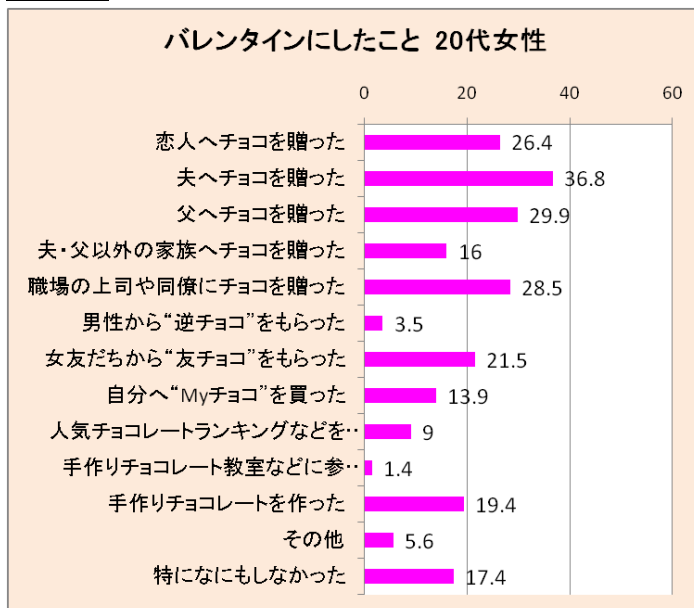
Q1 今年の「バレンタイン」に、あなたがしたことについてお答えください。

(MA/13項目について、いくつでも回答可)

回答数:女性 576名

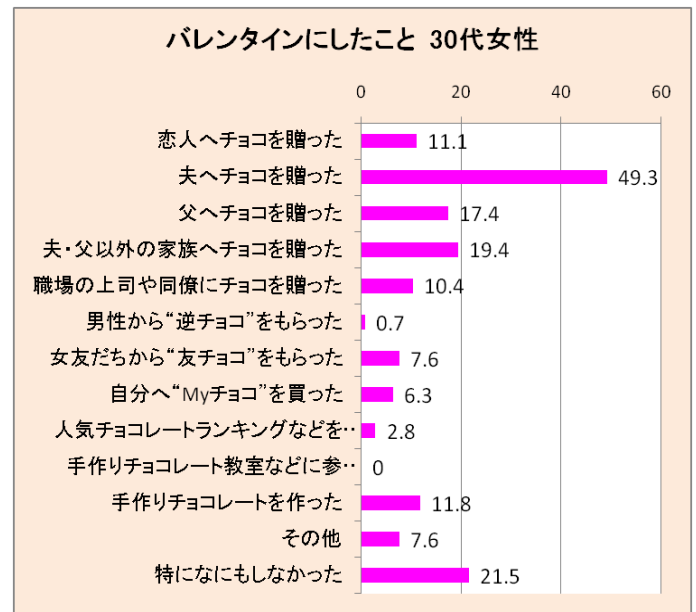
♥ バレンタインにしたこと 20代女性と30代女性をグラフにした。

20代女性 未婚 56.2% 既婚 43.7%



◎20代女性は、バレンタインにしたことが多彩であることが特徴的。20%以上のものは、①夫へ(36.8%)、②父へ(29.9%)、③上司や同僚へ(28.5%)、④恋人へ(26.4%)、⑤女友達から(21.5%)とあり、手作りチョコを作った(19.4%)も高い。これに比べて、30代女性では、夫へ(49.3%)が飛びぬけて高くなり、他には20%以上のものがない。

30代女性 未婚 28.4% 既婚 71.5%

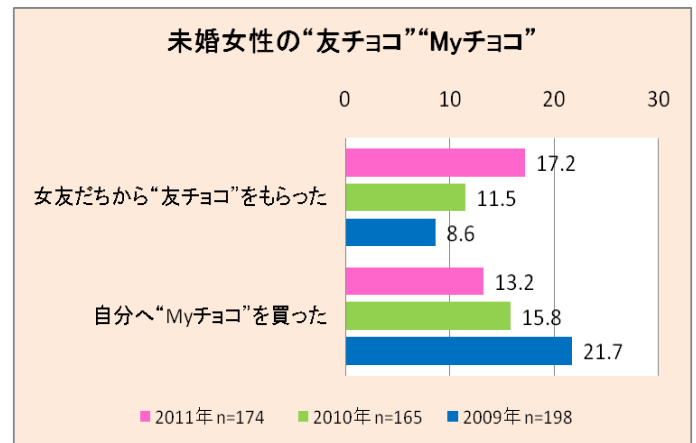


♥ **未婚女性 09年・10年・11年を比較**

*2009年から行っているバレンタイン調査を比較
2011年調査の20代女性で特徴的な、「バレンタインのチョコをやり取りする相手の多彩さ」を違う角度から見たのが、下のグラフ。

未婚女性の「友チョコ」「Myチョコ」についてグラフにした。

■2011年 n=174 ■2010年 n=165 ■2009年 n=198



◎「女友だちから「友チョコ」をもらった」「自分への「Myチョコ」を買った」の2項目は、従来のバレンタイン・チョコ「女性から男性へ」の使い方と異なる、比較的新しい行動として出てきたものだが、「女友だちから「友チョコ」をもらった」では、09年(8.6%)→10年(11.5%)→11年(17.2%)と高くなっている。一方の「自分への「Myチョコ」を買った」は、09年(21.7%)→10年(15.8%)→11年(13.2%)と低くなってきている。

♥「本命チョコ」、「義理チョコ」、「友チョコ」と新しい呼び名を得て、変化してきたバレンタインだが、さらに、「ファミチョコ」=家族へ、「世話チョコ」=お世話になった方へ、「ホモチョコ」=男→男などのネーミングも出てきている。いまのバレンタインデーとは、人との関係を重視するもの、とすると、ホワイトデーはどのような位置づけに変化するのか、こちらも気になる。